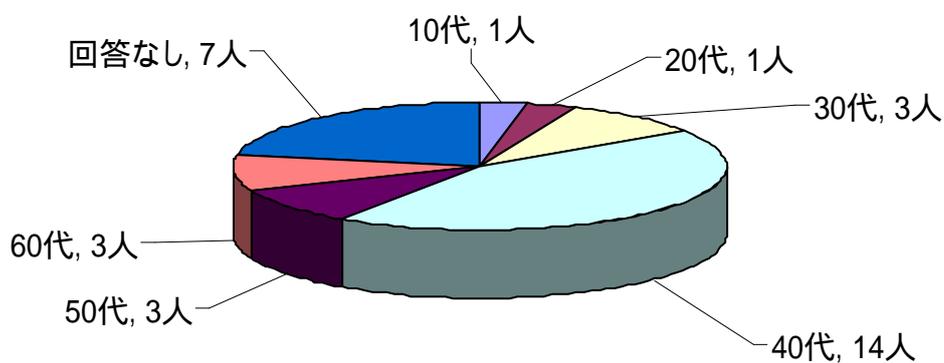
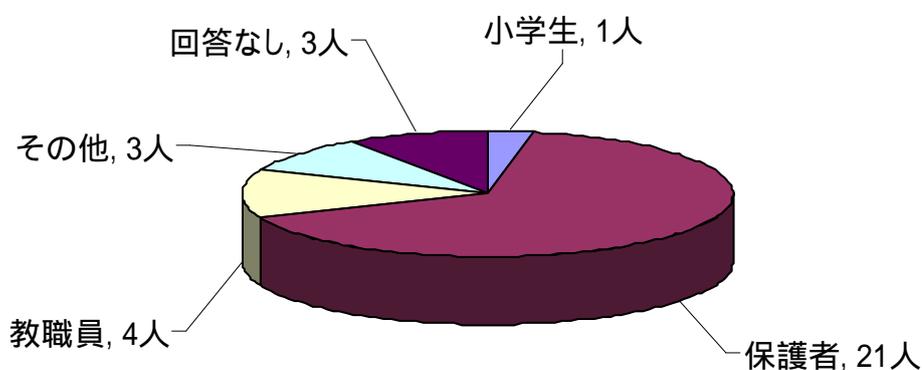


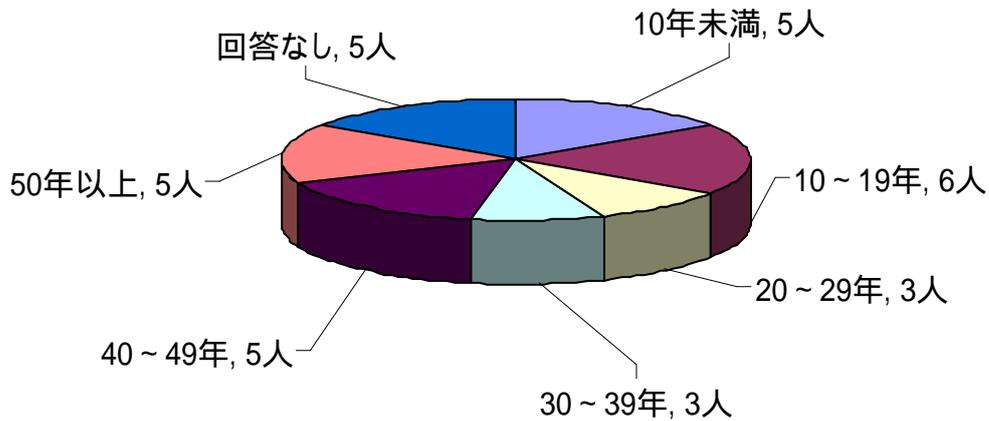
公開ワークショップ アンケート集計

平成 19 年 12 月 16 日（日）に開催した小中一貫教育校「公開ワークショップ」で参加者を対象に実施したアンケートについてまとめました。

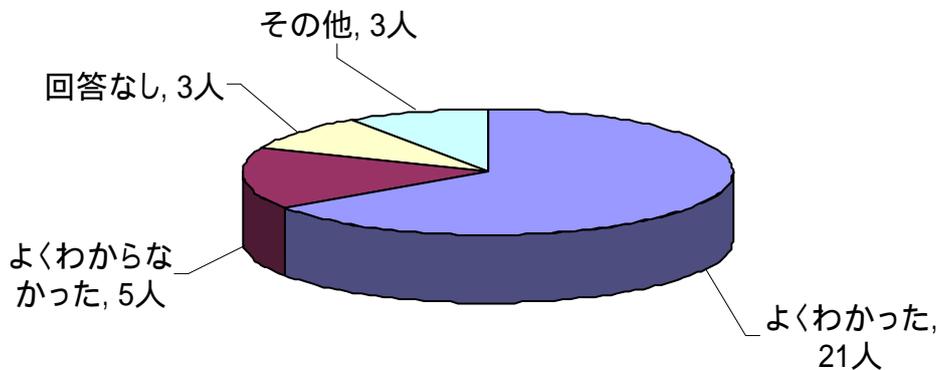
1 . 参加者の年代分布



2 . 参加者の在住年数



3 . 小中一貫校の考え方について



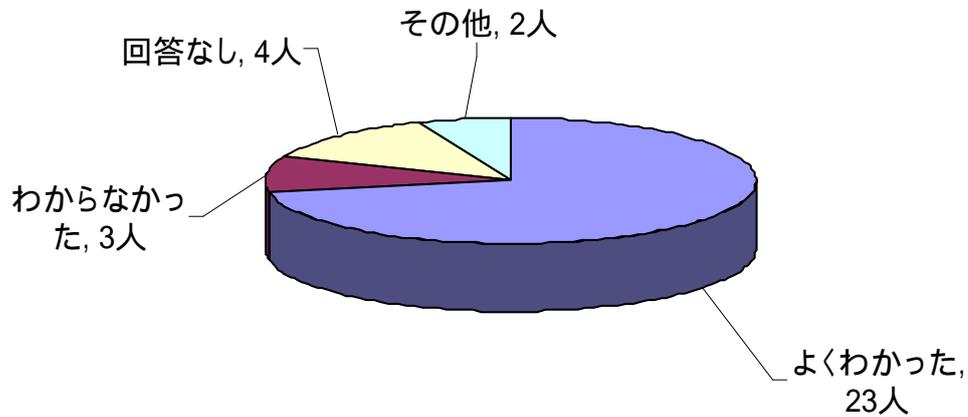
その他の意見

- ・ あらすじはわかったが、飛島らしさが？

せっかく他にはない一貫校になるので、少人数ならではとか、他にはない良い学習が出来るようになると良い。

- ・ コンセプト、方針を具体化する。目標がわからない。
- ・ 建物なのか内容なのか、何が言いたいのかははっきりわからない。

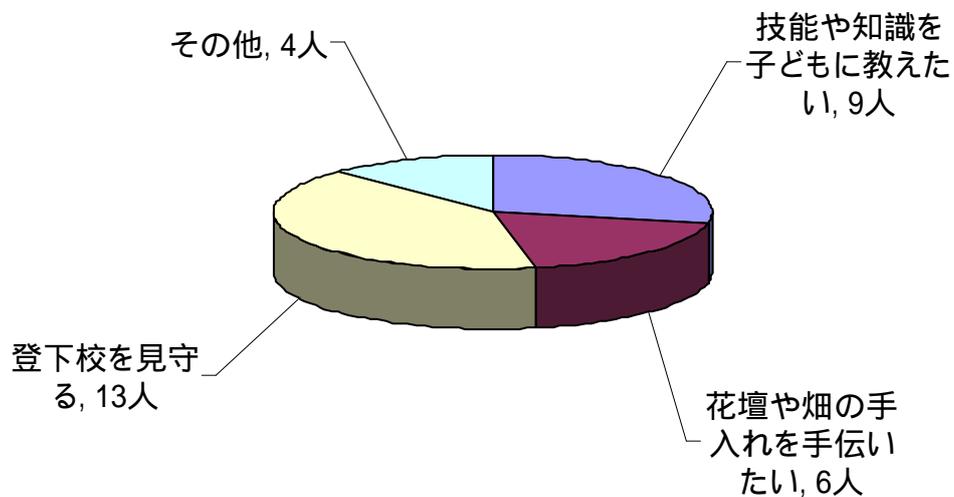
4 . 新校舎の計画について



その他の意見

- ・ イベント時の駐車スペースについての検討が必要だとも思う。

5 . 村の将来を担う子どもたちを育てる飛島学園で、 子供達の育成にどのように貢献したいか



その他の意見

- ・できるかぎりボランティア活動には参加し、子どもとともに成長していきたい。
- ・小学校と図書館で読み聞かせをしていますが、出来るだけ長く続け中学生が小学生に読み聞かせしてあげられるような環境づくりまで出来たらと思っている。地域の人々がもっと学校に関われるようにお手伝いしたいと思っています。
- ・小、中学生の親としてよりよい学校をつくれるよう参加していきたい。参加型の機会を増やして欲しい。保護者以外の人々にも理解していただけるようなものをつくらないと。
- ・清掃なども協力していきたい。
- ・保護者や地域住民にも入ってもらい、コミュニティスクールのようなことも実現したいと思っている。そのためのスペースを有効利用していきたい。
- ・子どもたちが小中一貫でしか学べないようなものをさぐってきたい。
- ・明るく大きな声で挨拶が出来るよう、声掛をしたい。
- ・人間性を磨く。地域とかかわりあいながら、よりよいことを学び、よりよい人間に成長していく力をつけてやりたい。
- ・積極的に学校側と話し合いの場を持つことにより、より良い教育をしていくようにしたい。

6 . 飛島学園に望むこと、公開ワークショップに参加した感想など

- ・校舎周辺の整備などをシルバーの人や、村の人達がしていただければ、その人たちの目があって安心だと思しますので、人の目を増やすことをしてほしい。
- ・地域の方に守っていただきたい。

教育委員会や学校からの声掛だけでは実現できません。ぜひ、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

・通学、授業後の子どもたちが一番心配です。通学路の街頭の確保、歩道橋の検討、部活後の子どもたちの安全をしっかりと守って欲しい。

・通学路はどうなっているか。

・登下校の通学路は安全か。

安全な通学路を確保するために、今後、可能なものから順次整備できるよう検討します。

・小学校は集団登校ですが、コースをなるべく早く教えてほしい。

・中学校は自転車登校では、置き場所を知りたいです。

これまでどおり小学生は集団登校、中学生は自転車登校になる予定です。コースについては検討中です。自転車置場は校舎の西側になる予定です。

・登下校にスクールバスは考えてないですか。せめて初等部だけでもバスであるとは自転車通学とか中学生は自転車で小学生、特に1, 2年生でまだ体力がない子供達を長い道のりを歩かせるのは危ない。

今のところ、スクールバスについては検討していません。小学生の通学団での登校は、小学校5・6年生のリーダーシップの育成、低学年の体力増強になると考えています。

・親として防犯は少し気になります。

・広い敷地なので不審者の出入りをどのように対応するのか。

・防犯カメラなど、校舎の中にもあるのか。

・セキュリティ面の話が無い。

・安全面（校内・校外）の徹底

どのような警備体制にするのか、検討しています。校門には防犯カメラを設置する予定で計画を進めています。

・学童はもっと開けた感じで、外部との交流もして欲しい。

限られた数の職員で運営していかなければならないと思いますので、最低限の管理を施設面でできるように計画しており、計画全般については民生部で検討しています。

・イベント時の駐車スペースについての具体的説明がしてほしい。

・イベント時などの駐車場の使い方について具体的に説明して欲しいと思いました。

村全体で、利用計画を検討します。

・小学校の下校の際に学校周辺に迎えの車がたくさんついているのでとても危険です。そのような事の無いようにして欲しい。

お子様の身を案じての事だと思いますが、集団下校が原則ですので車での迎えは遠慮してほしいと思います。ただし、下校の際には迎えの車両専用で東側駐車場を開放するなど、運用面の検討はしていきます。

・できれば制服で（私服のほうがたぶんお金がかかる）

小学校の制服を数年前に廃止した経緯もあるので、今後アンケート等をするなどの検討をします。

・校歌もあまり変えたくない（親も歌えるので）

これまでの小学校歌と中学校歌をなくすわけではありません。新しく学園歌を作成し、式典等では学園歌と校歌が歌えるよう考えています。また、学園歌の歌詞を2月の終わりまで募集していますので、どしどし応募してください。

・6 - 3 4 - 3 - 2になるので6年生で卒業式はおかしい。4年でやったらどうか。

法律の関係もあり、飛島小学校と飛島中学校が全く無くなってしまおうのではありませんので、小学校の卒業式はこれまでどおり6年生で行います。

・PTAは別々になるのか、一緒になるのか。

21年度から1年間の準備期間を経て、一緒になる方向で検討しています。

・部活用のシャワールームもやはり計画に入れてもよいのではないかと思います。10年、20年後を考えると必要ではないでしょうか。

シャワーを使えば着替えも必要になりますし、部活後の下校時間が遅くなる心配があります。早く帰宅して家でシャワーをしていただきたいと思えます。

・更衣室は中等部以上のところには作って欲しい。

更衣スペースは校舎内に十分ありますので、学校での運用に任せます。

・多目的ホールは食堂となるのか。

衛生面の問題もありますので、主にランチルームとして運用し、式典等に

については体育館や中央公民館ホールで執り行う予定です。

・トイレの数が足りない。

学校の先生方とも再検討し、適切な数とします。

・教室が広いのはいいけれど、冷暖房完備で使わない部分まで涼しくしたり、暖める必要はあるのか。もっと仕切りをして無駄な電気代は節約して欲しい。

現在の計画では、空調設備は仕切りの出来るスペースに設置します。また使用については学校内で基準を設定し、電気代を節約するように努めます。

・現中学校はどのように活用するのか。

現在の小学校と中学校の跡地利用に関しては、村で検討中です。小学校の校舎と小・中のプールは解体する予定です。

・校舎からすこやかセンター（プール）までの道路を横切るための屋根つき歩道橋は必要。

歩道橋を設置する予定はありません。横断歩道を設置し先生の管理の下、安全に移動する予定です。

・特別教室の数が足りないのでは。9学年が使うことになるがバッティングにより使用に制限がでることはないのか。

バッティングが起こらないように配慮して、時間割を組む予定です。

・普通教室におけるICT（情報通信技術）環境はどうなっているのか。メディアセンターに移動しなければ使えないようでは困るのでは。

全ての教室にLANの配線を設置する予定です。各教室へのパソコン設置については検討中です。

・自然が少ない気がします。外の堀の水位を高めてコイなどが泳げるようにしたらどうか。

緑化計画については設計事務所が検討中です。また、学校周辺の水路ですが、既存の排水路を付替整備するもので、水位を高めてビオトープのように利用することは大変困難と思われます。

・異動してきた先生がうまく対応できるのか。

飛鳥村の小中一貫教育については、様々な場面で他の市町の先生に紹介し

ていますので、十分に対応できると考えます。

・子どもたちがのびのびと自分の学びたいことを学んだり、活動したりできる、心を豊かにできるような場にしてもらいたいです。

・ゆとりのある勉強・スポーツを。

学校の先生方にも意向を伝え、学校経営に生かしたいと思います。

・小中合同を意識するあまり、学年に応じた内容の発表ができないということが無いようにしていただきたい。(高等部が初等部にあわせるなど)

学年の発達段階を考慮した教育を進めます。

・日本語も満身に覚えられないのに1年生から英語を教える必要があるのか。

1, 2年生の英語の授業は隔週45分です。英語や外国の文化に親しむ程度の内容です。国際理解教育の一環でもあります。

・部活はどうなる

・小学生の部活は中学生の部活にリンクできるように考え直したほうがよいと思います。

小・中学校の部活をリンクさせ、小5から部活に参加できるように学校の先生方と検討を進めます。

・多額な予算を使うため、立派過ぎる程の施設と思う。木で仏像を彫って心(魂)を入れなかったら、ただの木片となる。心を育てる指導者・教育者が絶対的に必要だと思う。より具体的な計画を作って欲しい。

・経営方針と建物計画がきちんとリンクしていないのが気になります。

学校の先生方としっかり検討していきます。

・立派な建物についてはよくわかりましたが、肝心の中に入れる子どもの教育方針については校長の話だけだった。そちらの方をもう少し話して欲しかった。

地区懇談会等でも話をさせていただいています。今後も説明する機会を設けます。

・学校の経営方針、地域防災、村の行事運営での活用などを具体的に建物計画に反映していく必要があると思います。(面積、収容人数、車の駐車台数などのケーススタディは最低限やるべきです)

・飛鳥学園だけのことでなく、地域との繋がりをどうしていくのか。大切な税

金を使うことをもう少し重く考えて役場の方は対応して欲しい。村民が納得するだけのものをつくる。

村として検討を進めます。

・小中一貫教育だけでなく、地域が一つになっていけるように考えを出して完成させていってほしいです。

地域だけではなく村全体が一つになっていけるような考えを行政と村民の皆様とで考えていく必要があります。

・ワークショップの内容をインターネットだけでなく、広く村民の方にわかるように広報に載せてほしい。

ワークショップは多い月には3回、少なくとも1回は行いました。キラリ通信についてはA3の用紙に設計事務所がまとめています。広報の紙面も限られており、A3用紙1～3枚分の記事を掲載することは無理がありますので、インターネットでお知らせしています。役場と中央公民館とを結ぶ渡り廊下に、キラリ通信をカラー印刷して掲示してありますので、そちらでもご覧ください。

・地域住民と十二分に話し合っ、建設計画を立てることは非常によいことだと思う。

「ワークショップ」という手法を設計事務所より提案され手探りでやってきましたが、良い結果が得られたと思っています。